

YAMAHA ルータ WebGUI WAKWAK IPoE ビジネス -動的プラン- 設定ガイド Ver.1.2

対応機種	最新ファームリビジョン (2023.12.14 時点)
RTX1300	Rev.23.00.10
RTX1220	Rev.15.04.05
RTX830	Rev.15.02.30
NVR510	Rev.15.01.25

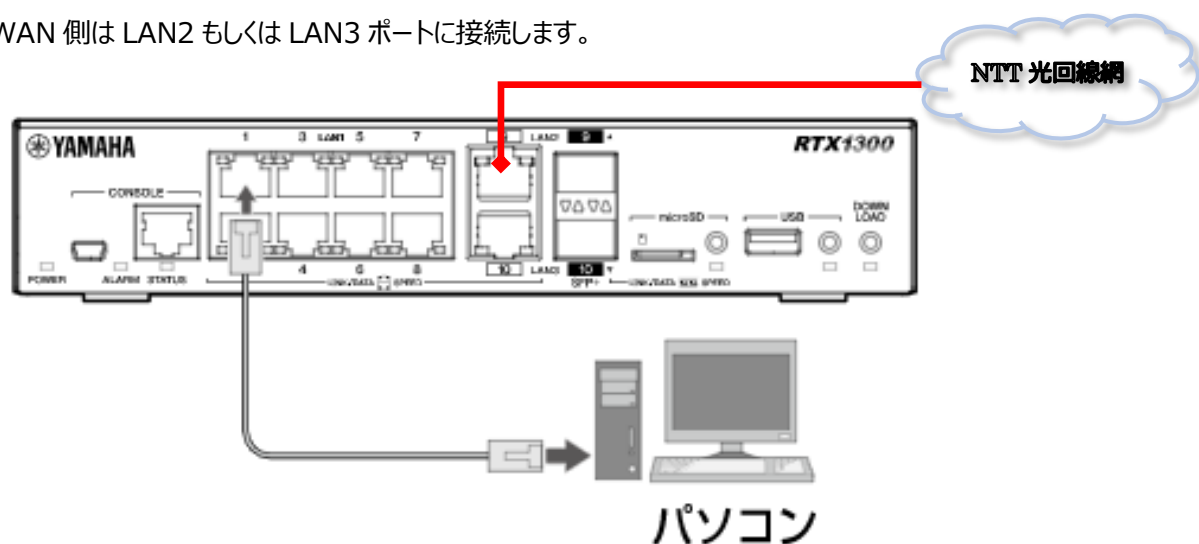


目次

1. ネットワーク機器やパソコンを接続する (P1)
2. Web GUI ヘログインする (P2～P3)
3. ファームウェアを更新する（事前にインターネットにつながる環境で実施する） (P4～P6)
4. 現地作業 (IPv4 over IPv6 トンネルでインターネットに接続する) (P7～P13)
5. RTX1300 最新ファームウェアの仕様変更について (P14)

1. ネットワーク機器やパソコンを接続する

- ネットワーク機器やパソコンの LAN ポートと、本製品の LAN ポートを、LAN ケーブルで接続します。
 WAN 側は LAN2 もしくは LAN3 ポートに接続します。



2. Web GUI ヘログインする

(1) Web GUI の準備を使用する

- 本製品の LAN1 インターフェース（ポート 1～8 のいずれか）とパソコンを LAN ケーブルで接続します。

(2) パソコンで Web ブラウザーを起動します。

(3) アドレスバーに「http://192.168.100.1」と半角英数字で入力して、[Enter] キーを押します。

- ユーザー名とパスワードを入力するダイアログが表示されます。

ご注意
 初期管理ユーザー「admin」のパスワードを変更するまでは、LAN2、LAN3 インターフェース（ポート 9、10）に接続したパソコンからはログインできません。



ログイン

http://192.168.100.1
このサイトへの接続ではプライバシーが保護されません

ユーザー名 admin

パスワード

ログイン キャンセル

ユーザー名：admin
パスワード：admin

- パスワードの変更画面が表示されます。

RTX1300

初期管理ユーザー "admin" のパスワードを初期パスワードから変更してください。

新しいパスワードを入力してください。

.....

パスワード強度 [] [] [] 最強

確認のため、再度新しいパスワードを入力してください。

.....

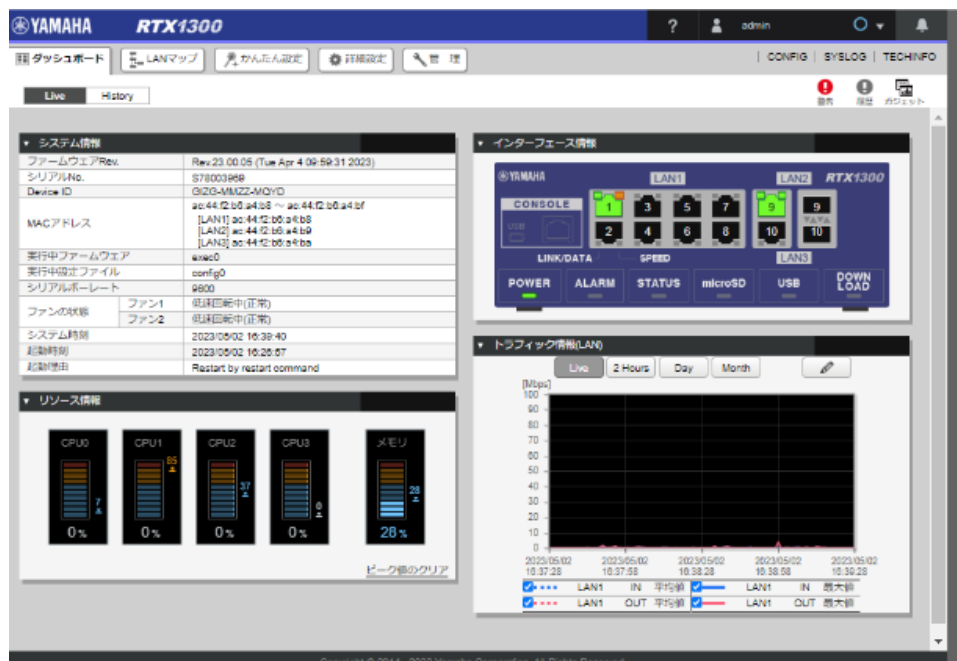
保存

Yamaha Corporation

新しいパスワードの設定が完了するまでは、本製品にログインできません。

- パスワードの変更を完了します。

変更した、ユーザ/ID で再ログインすると、下記のダッシュボード画面が表示されます。



3. ファームウェアを更新する

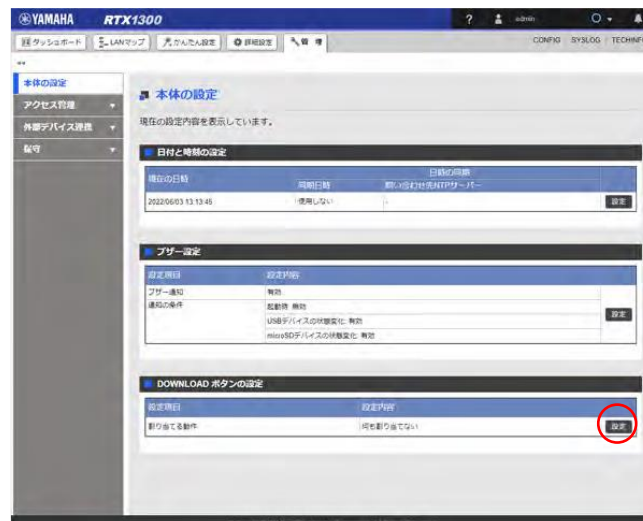
- WebGUI で IPoE ビジネスを設定できるのは、**Revision : 23.00.05 以降**（RTX1300 の場合）です。

それ以前の Revision の場合は、ファームウェアをアップデートします。

①ネットワーク経由 ※従来方式（PPPoE）でインターネットに接続できる場合

（1）「管理」タブ「本体の設定」を順に選択する。

- 「本体の設定」画面が表示されます。



（2）「DOWNLOAD ボタンの設定」項目の「設定」ボタンをクリックする。

- 「DOWNLOAD ボタンの設定」画面が表示されます。



（3）「ネットワーク経由でファームウェアを更新する」を選択する。



（4）「確認」ボタンをクリックする。

- 「入力内容の確認」画面が表示されます。

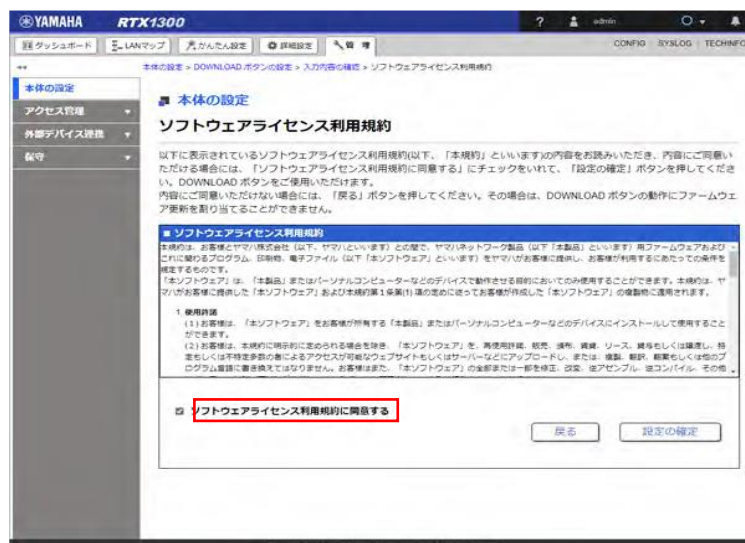




(5) 入力内容を確認し、問題がなければ「次へ」ボタンをクリックする。

➤ 「ソフトウェアライセンス利用規約」画面が表示されます。

(6) ソフトウェアライセンス利用規約の内容をよく確認し、「ソフトウェアライセンス利用規約に同意する」のチェックボックスにチェックを入れます。



(7) 「設定の確定」ボタンをクリックする。

➤ 設定が反映され、「本体の設定」画面が表示されます。

※本設定を行った後、本製品の DOWNLOAD ボタンを 3 秒以上押すと、ネットワーク経由でファームウェアが更新されます。すでにファームウェアリビジョンが最新になっている場合や、本製品がインターネットに接続されていない場合は、ファームウェアは更新されません。

②外部メモリーを用いる場合

(1) インターネットに接続された PC で、ヤマハネットワーク周辺機器技術情報ページ

(http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/firmware/index.php#si_router) にアクセスし、

・ RTシリーズ/各製品と利用可能なファームウェア(リビジョン)

(2) 該当するファームウェアのリンクをクリックします。

・ RTX1300

製品名	初期出荷	Rev.23.00系
RTX1300	23.00.03	23.00.05

(3) 次画面のソフトウェアライセンス利用規約の確認の画面

で同意し、ファームウェアをダウンロードください。

ファームウェアダウンロード

対象機器	提供リビジョン	ファームウェア	MD5チェックサム
RTX1300	23.00.05	9472368 バイト rtx1300.bin	47 バイト rtx1300.md5



- (4) ヤマハネットワーク周辺機器技術情報ページから入手したファームウェアを、PC の外部メモリーに保存します。ファイル名は「rtx1300.bin」とします。

各ファイルの保存場所は、ルートディレクトリの直下をおすすめします。

(本製品を起動するとき、該当する名前のファイルが外部メモリー内に複数存在する場合は、最もルートディレクトリに近いファイルが選ばれます)

- (5) 外部メモリーを、動作中の本製品に接続します。

- 外部メモリーを認識すると、ブザーが鳴り、本製品の microSD インジケータまたは USB インジケータが点灯します。

- (6) microSD ボタンまたは USB ボタンを押しながら DOWNLOAD ボタンを 3 秒以上押し続けます。

- ブザーが鳴り、microSD インジケータまたは USB インジケータが点滅して、ファームウェアを本製品に読み込みます。続いて、STATUS、LAN、microSD、USB、DOWNLOAD のインジケータが順に点灯して、ファームウェアを本製品の不揮発性メモリーにコピーします。
不揮発性メモリーへのファームウェアの書き込みが完了すると、本製品が自動的に再起動します。



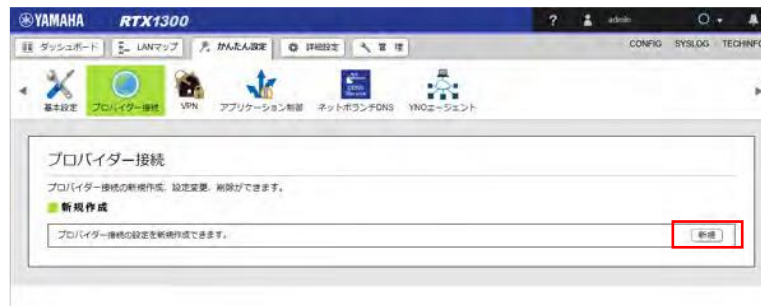
4. IPv4 over IPv6 トンネルでインターネットに接続する

(1) LAN ケーブルで ONU やモデムと本製品の LAN ポート（LAN2 または LAN3）を接続する。

(2) 「かんたん設定」タブを選択し、「プロバイダー接続」ボタンをクリックする。

➤ 「プロバイダー接続」画面が表示されます。

(3) 「新規」ボタンをクリックする。



➤ 「インターフェースの選択」画面が表示されます。

(4) フレッツ光回線を接続した LAN ポート（LAN2 または LAN3）を選択し、「次へ」ボタンをクリックする。



➤ 「回線自動判別」画面が表示されます。

※IPv6 回線の自動判別は行えないため、(5) の「回線自動判別」画面では適切な種別が表示されません。(6) の「接続種別の選択」画面で、必ず手動で接続種別を選択し直してください。

(5) 「次へ」ボタンをクリックする。



- 「接続種別の選択」画面が表示されます。
- (6) 「IPv6 IPoE 接続」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする。



- 「プロバイダー情報の設定」画面が表示されます。



① 設定名：

任意の名前を入力します。接続先がわかるような名前にしておくと、設定の修正や削除をする場合に便利です。

② ひかり電話の契約：

回線がフレッツクロスの場合は、「契約している」を選択します。フレッツ光クロス回線は、IPv6 の配布方式は DHCPv6-PD 方式となっており、ひかり電話契約なしに関わらず、ヤマハルーターの設定としては、ひかり電話契約ありとすることになります。フレッツネクスト回線の場合は（15）の表に記載いたします。

③ IPv4 over IPv6 トンネルの設定：

- 「Transix」を選択してください。

(7) 「次へ」ボタンをクリックしてください。



- 「IPv4 over IPv6 トンネルの設定」画面が表示されます。



YAMAHA RTX1300

ダッシュボード LANマップ かんたん設定 詳細設定 管理

CONFIG SYSLOG TECHINFO

基本設定 プロバイダー接続 VPN アプリケーション制御 ネットワークDNS YNOエージェント

プロバイダー接続

インターフェースの選択
回線自動判別
接続種別の選択
プロバイダー情報の設定
IPv4 over IPv6 トンネルの設定
DNSサーバーの設定
IPフィルターの設定
設定内容の確認

IPv4 over IPv6 トンネルの設定

入力内容をご確認の上、変更がなければ「次へ」を押してください。

transix の契約内容

transix IPv4 接続 (DS-Lite)

transix IPv4 接続 (固定 IP)

アップデータサーバーの URL

ユーザー名

パスワード

インターフェース ID

IPv6 アドレス

IPv4 アドレス

中止 戻る 次へ

設定完了

- (8) 「次へ」ボタンをクリックします。

- 「DNS サーバーの設定」画面が表示されます。



YAMAHA RTX1300

ダッシュボード LANマップ かんたん設定 詳細設定 管理

CONFIG SYSLOG TECHINFO

基本設定 プロバイダー接続 VPN アプリケーション制御 ネットワークDNS YNOエージェント

プロバイダー接続

インターフェースの選択
回線自動判別
接続種別の選択
プロバイダー情報の設定
DNSサーバーの設定
IPフィルターの設定
設定内容の確認

DNSサーバーの設定

入力内容をご確認の上、変更がなければ「次へ」を押してください。

DNSサーバーの設定: DNSサーバーアドレスを指定しない。またはプロバイダーから自動取得


中止 戻る 次へ

設定完了

- (9) 「次へ」ボタンをクリックします。

- 「IP フィルター設定」の画面が表示されますので、推奨の IP フィルターを設定するを選択します。





YAMAHA RTX1300

ダッシュボード LANマップ かんたん設定 詳細設定 管理

基本設定 プロバイダー接続 VPN アプリケーション制御 ネットボランチャDNS YNOエージェント

プロバイダー接続

- インターフェースの選択
- 回線自動判別
- 接続種別の選択
- プロバイダー情報の設定
- IPv4 over IPv6 トンネルの設定
- DNSサーバーの設定
- IPフィルターの設定**
- 設定内容の確認

設定完了

IPフィルターの設定

入力内容をご確認の上、変更がなければ「次へ」を押してください。

IPフィルターの設定

☒ 推奨のIPフィルターを設定する

☐ 設定しない

中止 戻る 次へ

(10) 「次へ」ボタンをクリックします。

- 「設定内容の確認」画面が表示されます。



ダッシュボード LANマップ かんたん設定 詳細設定 管理

基本設定 プロバイダー接続 VPN アプリケーション制御 ネットボランチャDNS YNOエージェント

プロバイダー接続

- インターフェースの選択
- 回線自動判別
- 接続種別の選択
- プロバイダー情報の設定
- IPv4 over IPv6 トンネルの設定
- DNSサーバーの設定
- IPフィルターの設定
- 設定内容の確認**

設定完了

設定内容の確認

入力内容をご確認の上、変更がなければ「設定の確認」を押してください。

インターフェースの選択

接続インターフェース LAN2

プロバイダー情報の設定

接続種別	IPv6 IPoE(DHCP) 接続
設定名	クロス軸的
IPv4 over IPv6 トンネルの設定	使用する transix

IPv4 over IPv6 トンネルの設定

契約内容 transix IPv4 接続 (DS-Lite)

DNSサーバーの設定

DNSサーバーの設定 DNSサーバーアドレスを指定しない、またはプロバイダーから自動取得

IPフィルターの設定

IPフィルターの設定 推奨のIPフィルターを設定する




中止 戻る 設定の確認



(11) 内容を確認し、「設定の確定」ボタンをクリックします。



(12) 「設定の一覧」項目の中から設定したプロバイダー接続の「接続する」ボタンをクリックします。

- プロバイダーへの接続処理が開始され、「プロバイダーの接続/ 切断」画面が表示されます。「接続状態」の表示が    に切り替わります。



(13) 「IPv6 ビジネス動的」の設定をおこなった場合は、下記手順にてポートの拡張設定を行ってください。

- 管理タブ → 保守 → コマンドの実行を選び、コマンド実行入力 BOX に。
 tunnel select 1
 tunnel endpoint name gwe.transix.jp fqdn
 と入力して実行キーを押します。





コマンド実行結果が下記のとおり成功となれば正常にポート拡張設定が行われています。

コマンド実行結果

結果	コマンド
成功	tunnel select 1
成功	tunnel endpoint name gwe.transix.jp fqdn
成功	save

コマンド実行ログ

テキストファイルで取得

```
tunnel select 1
tunnel endpoint name gwe.transix.jp fqdn
save
操作中... CONFIG0 終了
```



(1 4) ひかり電話の契約チェックボックス

光回線	契約	WAN側の接続機器	確認事項		ひかり電話の契約 チェックボックス
フレッツ 光ネクスト	IPv4接続 (DS-Lite)	ONU	ひかり電話契約 なし		なし
			ひかり電話契約 あり		あり
		ホームゲートウェイ (HGW)	ひかり電話契約 なし		なし
			ひかり電話契約 あり	HGWがルーターへ RA を広告	なし
	IPv4接続 (固定IP)	ONU	ひかり電話契約 なし		なし
			ひかり電話契約 あり		あり
		ホームゲートウェイ (HGW)	ひかり電話契約 なし		なし
			ひかり電話契約 あり	HGWがルーターへ RA を広告	なし
				HGWがルーターへ DHCPv6-PD によるIPv6アドレスを配布	あり
			ひかり電話契約 あり	HGWがルーターへ RA を広告	なし
				HGWがルーターへ DHCPv6-PD によるIPv6アドレスを配布	あり
フレッツ 光クロス	IPv4接続 (DS-Lite)	ONU	-		あり
		ホームゲートウェイ (HGW)	HGWがルーターへ RA を広告		なし
			HGWがルーターへ DHCPv6-PD によるIPv6アドレスを配布		あり
	IPv4接続 (固定IP)	ONU	-		あり
		ホームゲートウェイ (HGW)	HGWがルーターへ RA を広告		なし
			HGWがルーターへ DHCPv6-PD によるIPv6アドレスを配布		あり

(※) ホームゲートウェイの動作は、ホームゲートウェイの設定をご確認ください。



5. RTX1300 最新ファームウェアの仕様変更について

2023/12/8 時点での最新ファームウェアリビジョンは Revision : 23.00.10 です。

RTX1300 Rev.23.00.10 リリースノート

Rev.23.00.09 からの変更点

■ 機能追加

1. L2MSで、以下の機種に対応した。

- SWX2220-18NT
- SWX2220-26NT
- SWX2220P-18NT
- SWX2220P-26NT

■ 仕様変更

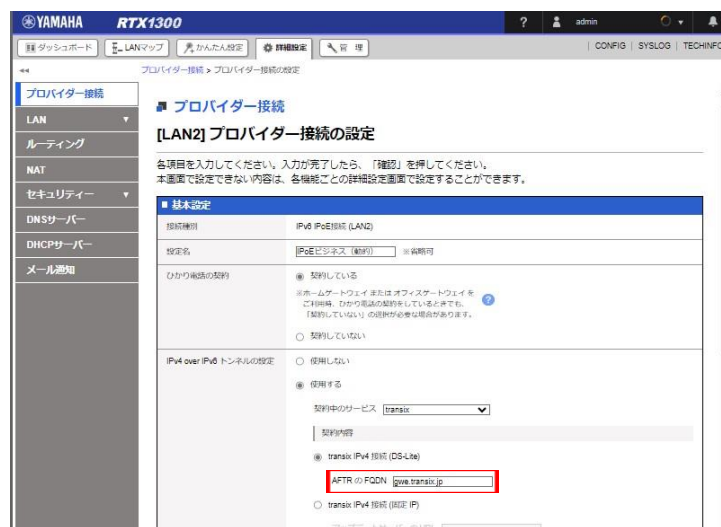
1. SFP/SFP+ポートで、相互接続性を向上させた。

2. Web GUIの以下のページで、[AFTR の FQDN] の入力項目を追加した。

- かんたん設定の[プロバイダー接続]
- 詳細設定の[プロバイダー接続]
 - transix IPv4 接続 (DS-Lite)

3. Web GUIのヘルプにWLX222に関する記述を追加した。

IPvE ビジネス動的設定画面が変更になり、GUI でポート拡張の設定ができるようになりました。
 (RTX1300 のみ対応)



設定項目	設定内容
接続種別	IPvE IPvE接続 (LAN2)
設定名	IPvEビジネス (動的) ※ 省略可
ひかり接続の契約	<input checked="" type="radio"/> 契約している <small>※ホームゲートウェイまたはオフィスゲートウェイをこの回線、ひかり接続の契約をしているときでも、「契約していない」の選択が必要な場合があります。</small> <input type="radio"/> 契約していない
IPv4 over IPv6 トンネルの設定	<input type="radio"/> 使用しない <input checked="" type="radio"/> 使用する 契約中のサービス transix 契約内容 <input checked="" type="radio"/> transix IPv4 接続 (DS-Lite) AFTR の FQDN gwe.transix.jp <input type="radio"/> transix IPv4 接続 (DS-IP)

AFTR の FQDN の入力 BOX に **gwe.transix.jp** と入力して設定を確定してください。



設定項目	設定内容
接続種別	IPvE IPvE接続 (LAN2)
設定名	(未設定)
ひかり接続の契約	契約している
IPv4 over IPv6 トンネルの設定	transix IPv4 接続 (DS-Lite)
AFTR の FQDN	gwe.transix.jp

こちらで設定をおこなった場合は、4 項の (1 3) の手順は不要となります。

以上

